

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	心理学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	一年次		学期及び曜時間	通年 火曜2限 他	教室名	406教室 他
担 当 教 員	小林 雅人	実務経験と その関連資格	大学および大学院で心理学を専攻(修士課程修了)			
《授業科目における学習内容》						
多岐にわたる心理学分野の主領域に触れ、心理学を概観する。基礎的な実験やレポート作成を通じて、科学的に心を扱うことの意義を知る。人間の行動および心の働きを様々な視点から捉えられるようにする。						
《成績評価の方法と基準》						
前半15回は筆記試験(90点)、実験レポート(10点)の合計点で評価するが、実験レポートが未提出の場合は、筆記試験が60点以上でも0点として扱うので注意すること。後半15回は筆記試験(100点)で評価する。最終的な科目認定は、前半15回と後半15回の平均点の評価を用いて行う。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
講義は配付資料をもとに進める。 【教科書】「ステップアップ心理学シリーズ 心理学入門 こころを科学する10のアプローチ」 講談社 【参考図書】「言語聴覚士のための心理学」 医歯薬出版						
《授業外における学習方法》						
授業外学習は教科書を用いた復習に重点を置く。 ただし、実験を行う回は事前準備が必須であるため、事前準備をしっかりと行った上で講義に臨むこと。						
《履修に当たっての留意点》						
本講義を受講することによって、「学問」としての心理学がどのようなものであるかを正しく理解し、心理学に対してさらに興味関心が広がっていくことに期待する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心理学における主要な学派を列挙し、その学派と関連のある人物名を対応させて述べるができる。	教科書、配付資料	教科書第1章と照らし合わせながら、配付資料で示した内容を中心に復習をする。	
		各コマにおける授業予定	心理学とは 心理学総論			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	視覚における様々な現象を列挙し、それぞれの概要を説明できる。	教科書、配付資料	教科書第4章と照らし合わせながら、配付資料で示した内容を中心に復習をする。	
		各コマにおける授業予定	感覚・知覚心理学概論			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	記憶の3過程を列挙し、それぞれの概要を説明できる。	教科書、配付資料	教科書第5章と照らし合わせながら、配付資料で示した内容を中心に復習をする。	
		各コマにおける授業予定	認知心理学概論 記憶①			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	記憶の分類を列挙し、それぞれの概要を説明できる。	教科書、配付資料	教科書第5章と照らし合わせながら、配付資料で示した内容を中心に復習をする。	
		各コマにおける授業予定	記憶②			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心理学における「学習」という言葉の意味を正しく理解し説明できる。	教科書、配付資料	教科書第2章と照らし合わせながら、配付資料で示した内容を中心に復習する。	
		各コマにおける授業予定	学習心理学概論			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心理学における古典的実験について、その背景となる理論や関心のある現象を理解し、実験の流れを自分の言葉で説明できる。	教科書、配付資料	実験概要と実験の流れを理解し、教示文も作成しておく。
		各コマにおける授業予定	鏡映描写の実験 概要説明と実験準備		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心理学分野で求められる実験での厳粛な手続きを知り、それを実際に実施できる。	教科書、配付資料	実験で得たデータおよび内観報告をまとめて、次回の授業時に持参する。
		各コマにおける授業予定	鏡映描写の実験 実施		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実験データの取り扱い方を知り、統計的に処理ができる。	教科書、配付資料	実験レポート作成に向け、生データをExcelに入力する。
		各コマにおける授業予定	鏡映描写の実験 結果の処理		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	心理学分野で求められる所定の形式に沿ってレポートを作成できる。	教科書、配付資料	講義内容を踏まえ実験レポートを作成し、期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	心理学 実験レポートの体裁と書き方		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	平均値、中央値、最頻値、分散、標準偏差を求めることができる。	教科書、配付資料	講義中で紹介した事例について、白紙の状態からもう一度求めて復習する。
		各コマにおける授業予定	心理統計学の基礎①		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	標準化、正規分布を理解し、標準得点、偏差値を求めることができる。	教科書、配付資料	講義中で紹介した事例について、白紙の状態からもう一度求めて復習する。
		各コマにおける授業予定	心理統計学の基礎②		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	条件づけと動機づけの機序を対比して説明できる。	教科書、配付資料	配付資料に示した動機づけの機序をまとめ直して復習する。
		各コマにおける授業予定	情動・動機づけ		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	主要な防衛機制を列挙し、それぞれの概要を説明できる。	教科書、配付資料	配付資料に示した主要な防衛機制をまとめ直して復習する。
		各コマにおける授業予定	ストレスと適応		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	主要な精神障害を列挙し、それぞれの概要を説明できる。	教科書、配付資料	配付資料に示した主要な精神障害をまとめて復習する。
		各コマにおける授業予定	異常心理学概論		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前半15回までの重要概念やキーワードについて説明できる。	教科書、配付資料	配付資料を元に、重要事項をまとめて復習する。
		各コマにおける授業予定	前半15回の総まとめ		